

# 茨城の 土地改良

発行所

茨城県土地改良事業団体連合会

水戸市宮内町3193-3

電話 029-225-5651(代)

FAX 029-225-5239

編集兼発行人

葉 梨 衛



国営ひたち海浜公園 (ひたちなか市)

## 目 次

平成31・令和元年度決算監査及び令和2年度第2回監事会 .....	2
令和2年度第2回理事会 .....	2
全国水土里ネット表彰式 .....	3
中央要望活動 .....	4
令和3年度農業農村整備事業関係予算概算要求の概要 .....	5
栃木南部農業水利事業所鬼怒川南部支所開所式 .....	5
令和2年度土地改良区体制強化事業 複式簿記導入促進特別研修 .....	6
第12回いばらきの農業・農村子ども絵画コンクール作品募集 .....	7
複式簿記会計に関する資料の掲載について .....	7

## 平成31・令和元年度決算監査及び令和2年度第2回監事会

去る6月23日（火）水戸市「茨城県土地改良事業団体連合会会議室」において、吉原総括監事及び雨谷監事の出席のもと、本会の平成31・令和元年度決算監査及び令和2年度第2回監事会を開催した。

なお、監査は下記のとおり行われた。

### 【監査事項】

1. 平成31・令和元年度事務事業の執行について
2. 平成31・令和元年度会計収支決算状況について
3. 平成31・令和元年度財産目録の状況について
4. 特定個人情報・個人情報の管理について



監事会の様子

監査では、吉原総括監事から「平成31・令和元年度の『業務及び会計経理状況』、及び『個人情報保護に関する規程の安全管理措置の監査』並びに『特定個人情報取扱に関する監査』を併せて執行しましたところ、その状況については良好と認められました。土地改良事業発展のため、また、我々会員へのサービス向上のために、職員一丸となって、なお一層の努力をお願い申し上げます。」との監査結果報告があった。

## 令和2年度第2回理事会

去る7月3日（金）水戸市「ホテルレイクビュー水戸」において、本会の令和2年度第2回理事会を役員18名の出席を得て開催した。

葉梨会長の挨拶に続き、来賓挨拶として茨城県を代表して石井農地局長より挨拶があった。

根本専務理事による業務報告の説明のあと、葉梨会長を議長として議事に入り、第1号議案「平成31・令和元年度事業報告、会計収入支出決算、貸借対照表及び財産目録の承認について」について、上程され、全会一致で可決承認された。



理事会の様子

# 全国水土里ネット表彰式

去る3月26日(木)に開催予定であった、第61回全国土地改良功労者表彰式、農業農村整備優良地区コンクール表彰式、21世紀土地改良区創造運動表彰式は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により6月30日(火)に延期されていたが、主催である全国水土里ネットは現況を勘案し、5月12日(火)に表彰式の開催中止を決めた。なお、受賞者への賞状等は郵送による授与となった。

全国土地改良功労者表彰では、農林水産大臣表彰が5地区、農林水産省農村振興局長表彰が3地区、金章表彰地区が34地区、銀章表彰地区が41地区、銅章表彰地区19地区が表彰され、また、個人表彰では117名が受賞した。

農業農村整備優良地区コンクールでは、農業振興部門12地区(農林水産大臣賞2地区、農村振興局長賞3地区、全国水土里ネット会長賞7地区)・中山間地域等振興部門6地区(農林水産大臣賞2地区、農村振興局長賞2地区、全国水土里ネット会長賞2地区)が受賞した。

本県では農業振興部門において、遊休地の土作り支援や地代の無償化により、担い手が安心して営農できる環境を整備したことによって、上小岩戸地区(上小岩戸地区県営畑地帯総合整備事業実施協議会)が全国水土里ネット会長賞を受賞した。ニラのブランド化や干しいもなどの加工品の生産にも取り組み、6次産業化を進めている。



個人表彰役員の一部受賞 立原 昇  
(中妻地区土地改良区理事長、県土連理事)

なお、本県では以下の団体及び個人が荣誉に輝いた。

## 第61回全国土地改良功労者表彰(茨城県内分)

団体表彰	金章	有ヶ池江下土地改良区(理事長:梶山 榮)
	銀章	七郷中川土地改良区(理事長:富山 仁一)
		出島東部土地改良区(理事長:小松崎 正衛)
	銅章	入沼土地改良区(理事長:中山 功)
個人表彰	役員	立原 昇 (中妻地区土地改良区理事長、県土連理事)
		内田 勝則 (ひぬま川土地改良区事務局長)
		菅谷 義之 (江連八間土地改良区事務局長)
		山田 俊一 (茨城県土地改良事業団体連合会事務局長)

## 農業農村整備優良地区コンクール表彰(茨城県内分)

農業振興部門	全国水土里ネット 会長賞	上小岩戸地区 (上小岩戸地区県営畑地帯総合整備事業実施協議会)
--------	-----------------	------------------------------------

(以上、敬称略 理事長等名は令和2年3月26日現在)

☆受賞された関係機関並びに関係者の方々には、改めて心からお祝い申し上げます。



## 中央要望活動

去る8月28日(金)、本会は、葉梨衛会長を先頭に、衆議院議員永岡桂子先生、田所嘉徳先生、神田裕先生、並びに参議院議員上月良祐先生の同行の下、農林水産省、財務省及び関係する国会議員に対して、農業農村整備事業令和3年度当初予算の確保と事業の計画的・安定的な推進について要望活動を行なった。

農林水産省では加藤寛治農林水産副大臣、奥田透農村振興局次長と、財務省では麻生太郎財務大臣、波戸本尚主計官、宮寄淳史主計官補佐と面談し、それぞれ要望書を手交した。

加藤副大臣から「予算の確保が重要なことは理解しており、令和3年度当初予算の確保に努めて参りたい。」と前向きな回答を頂いた。また、麻生財務大臣から「儲かる農業でないと若い人たちを含んだ担い手は育たないから、儲かる農業の実施に向けて頑張ってもらいたい。」とお言葉を頂いた。

なお、新型コロナウイルスの感染拡大防止のために、面談にて要望を行うことができなかったその他の農林水産省幹部及び財務省幹部の方々には、それぞれの担当者等を通じて一括して要望書を手交した。

また、農林水産省及び財務省に出向く前に、衆・参議院の議員会館をそれぞれ廻り、同行頂いた先生方を含む、関係する国会議員に対しても要望活動を行なった。



加藤寛治農林水産副大臣



麻生太郎財務大臣



奥田透農村振興局次長



波戸本尚主計官(中央右)、宮寄淳史主計官補佐(右端)

(役職等については令和2年8月28日現在)

## 令和3年度 農業農村整備事業関係予算概算要求の概要

去る9月30日(水)、農林水産省は、令和3年度農業農村整備事業関係予算の概算要求を発表した。例年であれば8月末に期限となっている概算要求だが、政府は、新型コロナウイルス感染拡大への対応に専念し、多くの関係者の作業負担を極力減らす観点も踏まえ、7月に政令を改正し、概算要求の期限を1ヶ月遅らせていた。なお、農業農村整備事業関係予算は、対前年度比122.0%の5,408億円となっている。

○令和3年度 農業農村整備事業関係予算概算要求の概要

【5,408億円】 (122.0%増)

(単位：億円)

区 分	2年度 予算額	3年度 概算要求額	対前年度比
農業農村整備事業(公共)	3,264	3,983	122.0%
農業農村整備関連事業(非公共) (農地耕作条件改善事業) (農業水路等長寿命化・防災減災事業)	508	633	124.6%
農山漁村地域整備交付金(公共) (農業農村整備分)	661	793	120.0%
計	4,433	5,408	122.0%

※令和2年度予算額は「臨時・特別の措置」を除いた金額。

※計数は四捨五入のため、端数において合計は一致しないものがある。

## 栃木南部農業水利事業所鬼怒川南部支所開所式

去る8月3日(月)栃木県小山市「小山市立生涯学習センター」において、関東農政局により、国営施設応急対策事業「鬼怒川南部地区」に係る、関東農政局栃木南部農業水利事業所鬼怒川南部支所開所式が挙行された。(開所は6月1日)

式には茨城県内及び栃木県内の関係者約80名が参集し、茨城県からは、関係土地改良区役職員、関係市町長並びに担当部・課長、茨城県農地局職員及び茨城県土連役職員が出席し、公務ご多忙の中駆けつけて頂いた永岡桂子衆議院議員(茨城県選出)も参列した。



会場での記念撮影

# 令和2年度 土地改良区体制強化事業 複式簿記導入促進特別研修

去る10月13日（火）小美玉市「小美玉市四季文化館みの〜れ」において、令和2年度土地改良区体制強化事業 複式簿記導入促進特別研修が、茨城県農林水産部農地局・農林事務所・土地改良事務所担当者、土地改良区役職員等合計201名の出席を得て、開催された。

本研修は、平成31年4月に施行された改正土地改良法の改正事項の一つとして土地改良区等の貸借対照表作成・公表が令和4年度から義務化される事に伴うもので、土地改良区の円滑な会計移行を実現する事を目的として、土地改良区体制強化事業実施要綱に基づき実施されるものである。

研修会当日のカリキュラム、講師は下記のとおりである。

本研修では、財務諸表等の作成手順や開始貸借対照表の作成の流れなど、土地改良区が複式簿記会計を行なうための、より実践的な講義内容となっていた。

土地改良区における複式簿記導入促進特別研修は、令和3年度も土地改良区体制強化事業の一環として開催する予定である。

	研修科目	講師
①	会計細則等見直し等	全土連 支援部 田村栄二参与
②	財務諸表等の作成手順Ⅰ	全土連 支援部 田中克哉主幹
③	財務諸表等の作成手順Ⅱ	全土連 支援部 田中克哉主幹
④	開始貸借対照表	全土連 支援部 田村栄二参与
⑤	資産評価マニュアル等	全土連 支援部 田中克哉主幹



挨拶 県土連 根本 力 専務理事



講師 全土連 田村 栄二 参与



講師 全土連 田中 克哉 主幹

## 第12回いばらきの農業・農村子ども絵画コンクール作品募集

テーマ

「茨城県内の農業や農村に関係すること。」

応募資格

茨城県内の小学校に在籍する4～6年生

締め切り

令和2年11月13日(金)(当日消印有効)

賞

茨城県知事賞/茨城県議会議長賞/茨城県土地改良事業団体連合会長賞/他  
※応募者全員に参加賞を配布

応募の決まり

- ・四つ切り画用紙サイズ(38cm×54cm程度)
- ・画材は、水彩絵の具、クレヨン、パステルなど
- ・応募用紙に必要事項を記入のうえ、絵の裏の右下に貼り付けて下さい。
- ・応募用パンフレットは下記URLよりダウンロードして下さい。

URL <https://www.pref.ibaraki.jp/nourinsuisan/nokan/shomu/20200713kodomokaiga.html>

※詳細は、上記URLをご確認下さい。

応募先  
問い合わせ先

〒310-8555 茨城県水戸市笠原町978-6  
茨城県農村計画課 絵画コンクール担当者 宛て  
TEL 029-301-4150 FAX 029-301-4169  
E-MAIL : nokeikaku3@pref.ibaraki.lg.jp

※過去の入賞作品は、茨城県農地局ホームページ「いばらきの農村発見」に掲載しています。

## 複式簿記会計に関する資料の掲載について

本会ホームページにて、農林水産省発行の以下の資料について掲載しております。複式簿記会計導入に係る業務にご活用下さいますようお願いいたします。

財務諸表等作成要領

この冊子は、令和2年2月1日現在、全国の農業者向けに発行された「複式簿記会計導入ガイド」に基づき、農業者が複式簿記を導入する際の参考となるよう、作成されたものである。この冊子には、農業者が複式簿記を導入する際の参考となるよう、作成されたものである。

財務諸表等作成要領

土地改良区会計に関するQ&A集

この冊子は、令和2年2月1日現在、全国の農業者向けに発行された「複式簿記会計導入ガイド」に基づき、農業者が複式簿記を導入する際の参考となるよう、作成されたものである。この冊子には、農業者が複式簿記を導入する際の参考となるよう、作成されたものである。

土地改良区会計に関するQ&A集

※下記URLまたは本会ホームページ内、「機関誌広報誌(左バー中段)」の「その他の広報誌」よりご覧頂けます。

[http://www.ibarakidoren.or.jp/kouhou\\_sonota.htm](http://www.ibarakidoren.or.jp/kouhou_sonota.htm)



# 選んで、アマビエ 必ず、アマビエ



## いばらきアマビエちゃんとは？

「いばらきアマビエちゃん」は新型コロナウイルス感染者が発生した際に、感染者と同じ日に同じ施設を利用していた方に対して、県から注意喚起のメールを送付するシステムです。いばらきアマビエちゃん登録店は県のガイドラインに沿って感染防止対策に取り組んでいます。お出かけの際は、いばらきアマビエちゃん登録店を利用しましょう。

※茨城県ホームページで、登録している店舗・施設の情報を一覧で掲載しています。裏面の二次元コードからアクセスできます。  
(公表を希望する店舗・施設のみ公表しております。)

厚生労働省の接触確認アプリ（COCOA）と併用することでより感染拡大防止の効果が期待できます。

## もし、訪れた施設やイベントで コロナが発生したら...

同じ日に、同じ施設を利用した方の中から感染者が出た場合同日に利用した全員に県から注意喚起のメールが送信されます。



## ご利用方法



## 注意事項

- 「いばらきアマビエちゃん」からのメールは「@ibaraki-coronanext.jp」よりお送りいたします。
- システム登録の前に「@ibaraki-coronanext.jp」からのメールを受信できるよう、ご自身の携帯電話、スマートフォン、パソコンのメール受信設定をご確認ください。メールが届かない場合は受信設定により、注意喚起メールを受信できない状態になっている可能性があります。
- 同じ店舗を別の日に訪問する都度、二次元コードの読み取りが必要になります。